

認知症の人と関わるには？

3月4日（火）に、2年福祉コースは、八尾北・山田地域包括支援センターの職員さんから、認知症サポーター養成講座を受けました。認知症の主な特徴について学びました。そして、グループワークを通して、認知症の人にどのように対応するのが適切なのかをみんなで考えました。

その人の発する言葉・声・表情・しぐさ・行動からも、望んでいること、困っていることなどを読み取り、接することが大切だと思いました。



＜感想＞

- ・ 認知症についての知識を得ることができただけでなく、自分自身の認知症の方に対する考え方や接し方を見直すきっかけになりました。
- ・ 認知症という言葉は知っていましたが、実際にどのような症状があり、どのように接するべきかを具体的に学ぶ機会がなかったので、とても貴重な体験になりました。認知症は決して他人事ではなく、誰にでも関わる可能性がある問題だと感じました。